

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	平成30年度第1回松阪市歯と口腔の健康づくり推進協議会
2. 開 催 日 時	平成30年7月17日（火） 午後1時30分～午後3時
3. 開 催 場 所	松阪市健康センターはるる3階 健康増進室
4. 出席者氏名	委員16名内15名
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	0名
7. 担 当	松阪市健康福祉部健康づくり課 TFL 0598-20-8087 FAX 0598-26-0201 e-mail ken.div@city.matsusaka.mie.jp

協議事項

1. 平成29年度歯科保健事業報告について
2. ライフステージ別の課題と今後の取り組みについて
3. 平成30年度フッ化物洗口推進事業について
4. 平成30年度の小学校へのフッ化物洗口事業について

議事録・委員名簿

別紙

平成 30 年度松阪市歯と口腔の健康づくり推進協議会委員

No	氏 名	団 体 等	役職	備考
1	なが い まさ ひこ 長 井 雅 彦	松阪地区歯科医師会	会長	会長
2	つ だ まこと 津 田 真	松阪地区歯科医師会	副会長	
3	にし むら みつ のり 西 村 充 功	松阪地区歯科医師会	専務理事	
4	すぎ やま ひろ き 杉 山 拓 紀	松阪地区歯科医師会	理事	
5	むら い とし ゆき 村 井 俊 之	松阪地区薬剤師会	理事	
6	うえ やま ゆき ほ穂 上 山 幸 穂	三重県歯科衛生士会松阪支部	研修担当	
7	せ とぐち なお こ 瀬戸口 直 子	三重県歯科衛生士会松阪支部	研修担当	
8	うめ たに せい 梅 谷 聖	松阪市 P T A 連合会	書記	
9	ば ば けい こ 馬 場 啓 子	市民委員	管理栄養士	
1 0	おか だ よし かず 岡 田 良 和	松阪市立小学校長会	校長	副会長
1 1	よう だ おうじ まさ ひろ 山田大路 雅 弘	松阪市立掃水小学校	教諭	
1 2	わた なべ あ き 渡 辺 亜 希	松阪市学校保健会養護部会	養護教諭	
1 3	なか むら あき こ 中 村 昭 子	松阪市立幼稚園長会	会長	
1 4	いの うえ み ほ こ 井 上 美保子	松阪認可保育園連盟	副会長	
1 5	ふく だ な お こ 福 田 奈穂子	松阪市立保育園長会	園長	
1 6	うえ しま かず むね 植 嶋 一 宗	松阪保健所	所長	
アドバイザー	おく の ゆたか 奥 野 ゆたか	三重県健康福祉部	歯科衛生士	

平成 30 年 4 月

平成 30 年度 第 1 回松阪市歯と口腔の健康づくり推進協議会議事録

事 項	発 言	内 容
開会 13 : 30	事務局	<p>定刻になりましたので、ただ今から、「平成 30 年度 第 1 回松阪市歯と口腔の健康づくり推進協議会」を開催させていただきます。</p> <p>本日の会議は、松阪市審議会等の会議の公開に関する要領の規定により、会議を公開とするものとし、会議録作成のため、会議の状況を録音させていただきますので、あらかじめご了承下さい。</p> <p>また、本日の傍聴者は、ありません。</p> <p>なお、傍聴席の報道関係者による写真撮影をさせていただくことがございますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>
13 : 35		<p>それでは、事項書に沿って進めてまいります。</p> <p>まず会長様から、ご挨拶いただきたいと思います。</p> <p>(会長挨拶)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>さて、本年度は、4 月 1 日付けで新しく、4 名の方々に歯と口腔の健康づくり推進協議会委員を委嘱させていただきました。</p> <p>つきまして、事項書 2 委員の皆様にご自己紹介をお願いいたします。</p> <p>(各委員自己紹介)</p> <p>本日は、1 名の委員がご欠席でございます。本日の協議会は、委員 16 名のうち、出席者 15 名で、規則第 6 条 2 項により成立していることをご報告させていただきます。</p> <p>それでは協議事項に入りますが、議事・進行につきましては、規則第 6 条 1 項により会長が議長となり議事の進行をお願いいたします。</p>
13 : 40	会 長	<p>それでは事項書 3 協議事項 (1) 「平成 29 年度歯科保健事業報告について」事務局より説明願います。</p>
	事務局	<p>平成 29 年度歯科保健事業報告について、まずお手元の資料 A - 1 の平成 29 年度実績指標一覧を</p>

ご覧ください。乳幼児期の5つの指標全て前年度より良い値になっています。

次に園児期の2つの指標では昼食後に歯みがきに取り組んでいる保育園・幼稚園の数値においては前年度と同じ値となっており、フッ化物洗口を実施している保育園・幼稚園の数値においては、保育園では平成28年度11園から平成29年度は16園に、公立幼稚園では平成28年度4園から7園と増加しています。私立幼稚園を合わせ計24園での実施となりました。

次に学齢期の6つの指標では6歳児のむし歯がない人の割合が平成28年度51.3%から平成29年度55.3%、12歳児のむし歯がない人の割合も平成28年度54.8%から平成29年度58.5%と共に前年度より良くなっています。歯肉炎を有するものの割合では小学生では平成28年度4.2%から平成29年度4.6%へ増加していますが中学生では平成28年度6.4%から6.2%へ減少しています。昼食後の歯みがきに取り組んでいる学校については、小学校で32校、中学校で3校と共に平成28年度から変動はありません。

次に成人期・妊娠期・高齢期の指標では歯周病検診の国の定める対象者である節目年齢40歳・50歳・60歳・70歳の受診者数は平成28年度234人から平成29年度247人となっています。受診者数としては増加となっていますが、平成29年度は対象者が増加したため受診率で比べると平成29年度5.4%と前年度より受診率は下がっています。また指標には上がっていませんが、高齢期においては後期高齢者広域連合が実施している75歳、80歳対象とした後期高齢者歯科健康診査では平成28年度受診者数529人受診率14.9%から平成29年度受診者数524人受診率15.0%となっており受診者数は減少していますが受診率としては上がっています。

最後に要介護者・障がい者の指標では、みえ歯ートネットに参加している歯科医療機関数と定期的な歯科健診を実施している障がい者施設数は平成28年度10施設から平成29年度9施設へ減少しています。口腔機能向上サービスを実施している介護予防通所系事業所数は平成28年度7施設から平成29年度4施設へ減少しています。各ライフステージ別の関係各課・関係団体の具体的な取り組み実績につきましては資料A-2の通りとなっています。

会 長	<p>ただいま事務局より説明がありました。 ご意見、ご質問はございませんか。</p>
委 員	<p>これは要望として聞いていただきたいのですが、以前にもお話をさせていただきましたが、市の歯周病検診が40・50・60・70と10年毎に変わってしまいました。歯周病というのはどちらかというサイレント疾患で、気づいて症状が出てきた時にはかなり悪くなっていることがあります。出来ればもう少し間隔を短くしていただいて、5年毎くらいにいただけると市民の皆さんの歯の数を減らさないで健康に食べれるようになるのではと思います。</p>
会 長	<p>歯科医医師会も今年から妊婦健診が入ってきたので、それに関してはすごく市民の方も喜んでいると思いますが、歯周病も10年となると長いので、出来ればもう少し縮めていただければと要望させていただきます。</p>
委 員	<p>資料A-1の学齢期のところで、先程の歯周病は大人ですが、子どもでいうと歯肉炎のピークの状態のことなんです。A-1の⑩ですが、歯肉炎を有する小中学生の割合というのが、H28～H29に4.2%から4.6%、6.4%から6.2%とあまり良くなく、H35年度の目標値には達しないなという感じがします。その下の昼食後に歯みがきに取り組んでいる小学校、中学校とも増えていないので、取り組んでいない学校にぜひとも取り組んでいただけたらと思います。むし歯に関して言えば最初がフッ化物であったりするんですが、歯周病に関してはやはり歯肉炎というものの予防啓発というのが始まりになると思いますので、これに関しては歯みがきという健康教育的なこともお願いできればと思います。</p>
会 長	<p>歯周病の予防は歯みがきしかないのですが、なぜこの校数が増えていないのかご説明いただければ。</p>
事務局	<p>ご指摘の小学校の数なんです、どちらかという学校としてはやりたいんですが、水回りについて、大規模校では児童数に見合っておらず、そういった部分の改善も含めて協議しながら進めようと考えております。中学校の方は3校のまま横ばいで、市内11校ですので、なんとか1校</p>

		でも増えるよう学校長の方には話を進めていきたいと考えております。
	会 長	歯周病は生活習慣病なので、できるだけみんなで一緒に歯みがきをやっていただければいいかなと思います。よろしくお願いします。
	委 員	幼・保園の時にして、小学校はしないとなるとフッ素を利用する機会が分かれると思います。フッ素洗口は何年くらい続けたらよいのか、継続できない子には、フッ素の歯みがき粉を使用するとか、歯医者に行って対応するとか、どのようにすればよいか教えてください。
	委 員	実際にはじめられるのは、幼稚園、保育園からで、4歳5歳十分口腔のうがい、それから口に水分を含んでブクブクできる筋肉活動が十分できる年齢から始めるとちょうどよろしいかと思います。そして特に小学生の上顎の前歯、それから後ろの6歳臼歯というものが要になってきますので、その辺を早い時期から保護あるいは堅牢にしていくというのが子ども達の口の中の口腔機能の指標になりますので、むし歯にしないということが子どもの口の育成になると思います。そして、義務教育の15歳までフッ化物洗口をした子ども達は、その効果が33歳まで続くという風に文献ではございます。一般には20歳を過ぎると、歯も完成して堅牢な大人の丈夫な歯になりますので、33歳までということになりますと、子どもの時から成人になった時までむし歯に対する脅威というのがかなりカバーできるということがございます。ですから、早いうちからがよろしいんだと思います。
	会 長	本来なら継続がベストなんですが、現状は市の都合上の話もあります。間が空いてもいいのかというところの説明をお願いします。
	委 員	データの的には、幼・保園の期間にしっかり洗口された子が、就学してからどこまで永久歯に対してフッ化物の効果があるかということ、3～4年生くらいまでは効果があると認められています。ですのでブランクがあるということになれば、そこら辺で効果がきれ、むし歯ができやすくなる

14:00	会 長	<p>という可能性があるのではないのでしょうか。</p> <p>歯科医院や家庭でやっていただけたところはいいんですが、自分一人でとなると、みんな大体抜けます。それが学校または幼稚園でやれば、一緒にやりますので忘れずに続けてやれるというのが大きなメリットです。市の方でも継続的にやれるようお願いします。</p>
	事務局	<p>引き続き事項書3 協議事項(2)「ライフステージ別の課題と今後の取り組み」について、まず乳幼児期から学齢期までを事務局より説明願います。</p> <p>乳幼児期の現状として松阪市の場合、1歳6か月児では、むし歯有病者率0.6%と殆どのお子さんにむし歯がみられない状況になっていますが、3歳6か月児では、むし歯有病率が上がってしまうため、1歳6か月健康診査時に第1子の保護者または第2子以降の希望のあった保護者への仕上げ磨きと家庭用フッ素の使用方法について個別指導を実施し、指導の強化を図っており家庭用フッ素の使用する保護者は年々増えてきています。3歳児健診のむし歯有病率も年々減少傾向になっており平成28年度19.2%から平成29年度15.8%まで減少することができました。今後も、3歳児健診でのむし歯予防対策として、1歳6か月健診や健康教室の場において歯みがき指導や食事指導、フッ化物を活用についての啓発を行っていきたいと考えています。</p>
	事務局	<p>H29年度の保育園児におけるむし歯有病率は2歳児クラス8.5%、3歳児クラス20%、4歳児クラス30.6%、5歳児クラス33.7%、全体では23.9%と年々大きくなるにあたってむし歯の有病率が上がっております。H29年度の幼稚園児のむし歯有病率の割合は、5歳児29.0%、三重県はこちらが35.1%となっておりますが、統計の方は39.3%とご訂正の方よろしくお願いたします。</p>
	事務局	<p>事務局から全体の報告の中で、6歳、12歳のむし歯のない人の割合はH28年とH29年少し上がっているという報告をさせていただきました。しかし、むし歯を持って</p>

	<p>会 長</p>	<p>いる子どもの数は、県平均から比べると高くなっておりますので、フッ化物洗口事業を小学校で導入させていただくとともに、歯科医師会あるいは歯科衛生士会の方々にご協力いただいて、各校での歯みがき指導も充実していくよう取り組みを進めてまいりたいと思います。</p> <p>ただいま事務局より説明がありました。 ご意見、ご質問はございませんか。</p> <p>次に「成人期・妊娠期から高齢者・要介護者・障がい者の課題と今後の取り組みについて」説明をお願いします。</p>
	<p>事務局</p>	<p>成人期・妊娠期の現状として今年度より歯周病検診に加えて新しく妊婦歯科健診を実施しています。妊婦さんには積極的に受診してもらえるよう母子健康手帳発行時に妊婦歯科健康診査依頼票を発行し、また両親学級開催時での啓発の他、市内の産婦人科にポスター掲示も行っています。妊婦歯科健康診査では、むし歯や歯周病の予防や早期発見の口腔内診査に加えて、ブラッシング指導と歯間清掃用具の個別指導を実施することにより、妊娠期からのセルフケアの充実とかかりつけ歯科医院を持ってもらうことで若い世代からの歯周病予防をしていきます。歯周病検診においては、今年度より対象者を国の基準に合わせて節目年齢の40歳、50歳、60歳、70歳での実施となっています。40歳については全市民に受診券を発行し、より多くの方にかかりつけ歯科医院を作っていくためのきっかけづくりの場を提供していきたいと考えます。</p> <p>高齢期の取り組みについて今年度は健康センターはるるにおいて60歳以上の方を対象に高齢者支援課の運動教室との共催で栄養と口腔機能向上の健康教育を実施します。</p>
	<p>事務局</p>	<p>高齢期の方になりますが、今年度、健康づくり課と共同で教室の方を開催していきます。地域の高齢者さんが、成人期を経て高齢期に移っていくという部分のところでは、高齢期の本当に65歳になりたてという段階からきっかけづくりというのを提供していけるように、本年は検討しています。現状の課題としましては、ずっと継続して介護予防の推進という辺りのところが重要施策として位置づけられていまして、口腔機能に関する取り組みを歯科衛生士会</p>

	事務局	<p>松阪支部の皆さんの協力を得まして継続して進めているところです。ただ、今後一層増えるといわれる高齢者が専門的なご指導を受けられるといいんですが、なかなかそうばかりもいかないという部分もありまして、市民がその重要性を認識していただいて、「健康づくりって大事なんやよ」「お口のことって大事なんやよ」というのを伝えていただけるような、介護予防いきいきサポーターさんの養成活動の支援をしていきたいと思っております。また、宅老所やサロン、集いの場へ向けて衛生士会の先生方のご協力をいただきながら専門的な指導を繰り返し入っていくという形で、丁寧に進めていきたいと思っております。</p> <p>続きまして要介護者の部分になります。口腔ケアの重要性については、お世話をする側の方についても広く口の健康と全身状態の健康というのが大事だということを意識できるように、家庭介護教室の方を継続して開催をしております。当然、介護に当たっておられる方、事業所職員の方の参加もごございますので、在宅のみでなく施設ケア向上のための学びの機会の提供という形で実施をしていきたいと思っております。合わせて、地域包括ケア推進会議、他職種勉強会の機会において、歯科医師の先生方、または介護職のみなさんと連携を図りながら口腔ケアの充実によって、口腔ケアの推進、充実を目指していきたいと考えております。</p> <p>障がい福祉課の方では、窓口等で障がい者の方々に対して歯科健診に関する普及啓発、情報提供について引き続き実施していきたいと考えております。また、子ども発達総合支援センターに、今後も年1回ですが歯科医師会さん、歯科衛生士会さんのご協力を得まして、歯科健診、歯みがき指導、摂食嚥下指導についても実施していきたいと考えております。</p>
	会長	<p>ただいま事務局より説明がありました。 ご意見、ご質問はございませんか。</p> <p>私の方から少し。今年から妊婦歯科健診が始まるんですが、松阪と歩調を合わせて多気町、明和町も一緒に進めていただけます。今でもまだ妊娠すると子どもにお母さんの歯の栄養が取られて歯が悪くなるという迷信を信じている</p>

		<p>方もいらっしゃる、歯の栄養を子どもに取られるわけではないので、妊娠されるとお口が磨きにくい、気持ち悪いから磨きにくいというのが一番の原因なんです。健診にかかっただけであれば各歯科医院でケアしていただければと思います。それと高齢期、要介護者の方で口腔ケアの重要性を、他職種連携でも話題に上げていただいて頑張っております。誤嚥性肺炎という言葉みなさんもよく聞かれるとおもうんですが、お口の中から感染して、誤嚥性で肺炎を起こす死因の第3位です。実は肺炎ワクチンを打つと誤嚥性肺炎まで予防できると間違った認識をされる方が多くみえまして、これは原因菌が違うので、誤嚥性肺炎を防ぐには口腔ケアが必要です。その辺については協議会の委員の先生方にはよく理解していただいて、そういう話題が出たら、それはちょっと違うというような説明をしていただけたらと思います。</p>
委 員		<p>歯周病検診の実施と未受診通知の発送による受診勧奨を実施とあるんですが、これは今までしていなかったような、新しい取り組みでしょうか。</p>
事務局		<p>歯周病検診の未受診通知につきましては、以前からやっております。7月から検診を開始しますが、11月くらいに、その時点で受けていらっしゃらない方々に個人通知をさせていただきます。</p>
委 員		<p>忘れている方もみえると思いますし、ちょっと関心の無い方に特に受診していただきたいので、ぜひ今後とも続けていただくようお願いします。</p>
委 員		<p>子ども発達総合支援センターにおいて年2回歯科医師会から女性の先生に健診等を行っていただいているんですが、引き続き女性の先生でよろしいか。</p>
事務局		<p>男性の先生ですと過剰に反応される方もいるということで、女性の先生でお願いできればと思います。</p>
会 長		<p>女性の方に行ってもらうようにしてください。</p>
委 員		<p>資料A-1の障がい要介護者の一番下のところで、H2</p>

		<p>6は8施設あったものがH29には4施設に減っていますが、介護施設も障がい者施設も増えていると思うんですが、なぜ施設数が減っているのですか。あと中学校の昼食後の歯みがきに取り組んでるところが3校ということで、できればこの会に中学校の先生も入っていただいて、フッ化物洗口に対する関心を持っていただければもう少し前向きに進んでいただくのではないのかなと思いました。</p> <p>事務局長 先程言っていただきました23の項目が上げさせていただいて調べた資料になります。このデータは、各施設が一般市民に施設情報を提供している介護情報サービス公開システムから取得しております。その中の口腔機能向上サービスという項目から取得しておりますが、この項目では、施設の体制であるとか介護保険の点数等が関係し、それら状況にあてはまる場合はデータをあげられていると思われまます。また施設側がシステムへタイムリーに更新をいただいておりますかということもあり、この時点において取得したデータです。</p> <p>会長 これは不確実なんですが、各施設で歯科医師会と契約していただいてホームケアには入っていますが、この口腔機能向上サービスというのは、点数が多分関係してくるんだと思います。施設側が委員会とかを立ち上げてないと、認められない。実際、介護施設で口腔ケアを行っている施設は増えていますが、そういうことでデータには表れないということかと思えます。</p> <p>事務局 協議会の委員は規約で決まっていますので、すぐということもありますが、小学校の校長会の代表、学校保健会からも養護部会の代表として入ってもらっています。養護部会には小中学校の養護の先生がいますので、情報交流はさせていただいてますが、ご指摘の通り、フッ化物洗口という認知度がなかなか広がっていないのが現状で、まず教員が知ることが大事かなと思います。ご意見を参考に学校現場で広めさせていただきたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>委員 私は栄養部門の立場から一言意見を述べさせていただきます。当然フッ化物洗口がむし歯予防や口腔のケアのた</p>
--	--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

		<p>めに有効だということ推進されていくということはとてもいいことだと思いますので、増々取り組んでいただきたいと思いますし、その情報が正しい形で伝わっていくことを希望したいと思います。ただ、やはり食べていくところで、実際によく噛んで食べていかないと自分の体は食べたものでできていきます。そういう意味で基本にあるのはバランスの良い食事であったり、規則正しい生活であったりということが基本になっています。今日は学校関係、幼稚園関係、保育園関係の先生方や関係者の方がたくさんいらっしゃいますので、フッ化物洗口だけしていればむし歯が防げる、効果があるというところに安穩としていただくだけではなく、日常の食生活の状況、子ども達自身が自分の健康を守っていかなければいけないという、そういう自分の意識を高めるような、そういう意識づくりをぜひ日常から取り組んでいただきたいと思います。特に朝ごはん、食べてきているというような率は上がっていますが、内容まで分析しますと、とてもこれが朝ごはんかなと思うようなものを食べているという現状がたくさんあります。例えば、朝急いでいるし、食べやすいようにということで、ムースであったり、ケーキであったり、そういうものを食べて学校に来ている、または園に登園しているということが現実にあります。それから、おやつについても、私も乳児健診の指導や、離乳食教室の指導もしていますが、そんな中でもエッとと思うようなおやつを提供されている方もたくさんあります。未永く、幅広く、根気よく色々な業種と、または色々な先生方やPTAの方達とも連携しながら、繰り返しきめ細かい指導を、または伝達を、または啓発をしていかないと浸透していかないのではないかと思います。特に県平均よりも数値が高いという状況がずっと続いているというところの裏側のところが、統計上の数値ではありますが、これが下がっていかないというのはこの辺の繰り返しが大切なんではないかという気がします。ぜひ今後ともフッ化物洗口とか、そういう手段を続けていただきながら、基本的なところは学校で十分な指導をしていただきたいと思います。</p> <p>私も賛同です。特にフッ化物洗口という、それだけが耳に残りやすく一人歩きしているところがあるんですが。学校現場で薬剤とか使わないものを使うところに、難しい</p>
	委 員	

14:30	会 長	<p>ところがあるんだと思います。ただ、おっしやったように小学校時分になりますと、学童の保健委員会とかございますので、フッ化物もその1つとして、口の中の様子が一番家庭の状況を表すんだと思うんです。最初に歯肉炎であるとか、初期う蝕であるとかいうのが出てくるところがお口の中。内臓の方はもっと後になるんだと思います。夏になりますと、スポーツドリンクがあたかも栄養食品のような形で宣伝され、それが高血糖になり口の中もむし歯が非常にしやすいということになります。</p> <p>そういう意味ではフッ化物が社会状況の中で即効性もあるのかなということもありますが、先生がご指摘のようにそれだけではできません。高カロリー、高糖質、味の濃い食品、それに慣れ切っておりますとやはり後でダメージが来るのが成人になってきてからなので、小学校の時から永久歯を守っていく取り組みでございますので、特に学校の先生方もそこら辺のところを十分歯医者の方と連携していただき、体づくりという形でとらえていただきたいと思います。</p>
	事務局	<p>次に、協議事項（3）「平成30年度フッ化物洗口事業について」説明をお願いします。</p>
	事務局	<p>今年度、松阪市では、新規に公立保育園3園、公立幼稚園3園、私立幼稚園1園の計7園で実施し併せて小学校6校でも開始します。保育園、幼稚園では三重県のフッ化物洗口推進事業のモデル園に松阪地区歯科医師会様から申込みをいただく予定で準備を進めているところです。</p> <p>平成30年度の松阪市の実施要領につきましては資料C-1が新規園の実施要領になり、資料C-2が、本事業開始5年目以降の園の実施要領になり、これに沿ってフッ化物洗口を実施していきます。平成30年度は5年目以降の継続園として松阪市認可私立保育園5園と私立幼稚園1園に薬剤提供と洗口液の専用ボトルについては随時提供を行っていきます。小学校については資料C-3の実施要領に沿って実施していきます。各園、小学校の実施内容について、こども未来課、学校教育課から説明させていただきます。</p> <p>フッ化物洗口をしている保育園幼稚園の中で、保育園は1</p>

		<p>6園、幼稚園は7園あるうち、前年度フッ化物洗口についてあまり前向きでなかった園が、ご承諾をいただいて始めることになっております。保育園はH35年度で終了ということで先が少し長いので、時期的なものも検討してはどうかというお話がでていますが、先程先生方からお話があったように、保育園から小学校への移行とか、他機関との連携など、今後の協議事項とさせていただきたいと思えます。実際に今年度保育園と幼稚園を回らせていただいた歯みがき指導では、フッ化物洗口をしていない園から実施園への質問が多くあり、興味を持たれております。ただ保護者の同意が少し得られないところもあるので、そういった部分については保健指導として入らせていただきご理解を得ていきたいと思っております。</p> <p>事務局</p> <p>小学校ですが、資料C-3をご覧ください。そこにフッ化物洗口事業実施要領（小学校）、これに沿ってH30年度は進めてまいります。フッ化物洗口だけしていただければいいんだということにならないように目的にも述べさせてもらっております。食生活の習慣の改善あるいは正しい歯みがきの習慣を確認するというのも併せてフッ化物洗口をひとつの切り口により充実させていきたいと考えております。推進事業計画として今年度実施する6校、次年度の実施校も既に決まっております。今年度はH32年度の6校も決め事業を推進してまいります。</p> <p>会長</p> <p>事務局より説明がありました。 ご意見、ご質問はございませんか。</p> <p>委員</p> <p>フッ化物洗口事業についてはスピード感を持って実施してもらいたい。薬剤の提供等についても市職員が直接学校へ届けて貰い指導等してもらえると安心感があるのではないかと思います。</p> <p>会長</p> <p>フッ化物洗口事業は、三重県の事業でありますので、この事業の県内の取り組み状況について説明願います。</p> <p>アドバイザー</p> <p>三重県では今年度18施設の実施枠を設けてフッ化物洗口推進事業を実施していきます。県内の状況としては今年度、熊野市で8校の小学校で実施されます。三重県健康づ</p>
--	--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>会 長</p> <p>委 員</p> <p>委 員</p> <p>委 員</p> <p>委 員</p> <p>委 員</p>	<p>くり課では7月19日に新潟県へフッ化物洗口事業についての視察を行います。市町へも情報提供をさせていただきます。また、8月23日にはフッ化物応用研修会を三重県歯科医師会館にて開催させていただきますので皆様、ご都合よろしければご参加をお願いします。</p> <p>以上、協議事項についてご審議いただきました。 委員の皆様ご承認いただけますでしょうか。 歯と口腔の健康づくり事業につきましては、行政の取り組み、各機関の連携は言うまでもなく、今日ご出席の委員のみなさま方もそれぞれの分野における健康づくりの推進をお願いしたいと存じます。 熱心なご審議をいただき、ありがとうございます。 それでは、最後に委員の皆様からご意見・ご感想をお願いします。</p> <p>今年度の実施校になっています。現在保護者説明会の準備を進めている所です。食生活については栄養教諭が行っていますが全校配置ではないのが現状です。学校での歯みがき実施については洗面所の増設が難しいため進みにくくなっています。</p> <p>学校での歯みがき指導は栄養教諭とコラボして行っています。今後、歯肉炎対策としてブラッシング指導にも力を入れていきたいと思えます。園医・校医の先生方にもフッ化物洗口の状況を見にきてもらいたいと思えます。</p> <p>掃水小学校でも、今後フッ化物洗口が実施されるので掃水幼稚園の洗口の様子を見学してきました。小学校では洗面所が揃ってなくても大丈夫なのかと思えました。自分自身フッ素について、不安要素がいくつかあったのですが、今回お話しを聞かせてもらって正しく理解することができました。</p> <p>以前掃水幼稚園にいるときに経験していますが、今年度からは中川幼稚園での実施となり園児数が多く不安もあるので、より細やかな指導をしていただきたいと思います。</p> <p>フッ化物洗口を実施することにより園児が丁寧なうがい</p>
--	-------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

		<p>ができるようになってきました。うちの園では園児のむし歯も減ってきています。小学校用の薬剤管理簿が使いやすいのでこちらを使用させてください。</p>
委員		<p>今後フッ化物洗口実施により経過を経て、う歯率の変動がどの様に変わってくるか楽しみにしています。</p>
アドバイザー		<p>新潟県の状況やノウハウをしっかりと学んで、県内のフッ化物洗口事業が円滑に進めていけるよう情報提供していきたいと思います。</p>
委員		<p>むし歯予防の上で、フッ化物とともにしっかり咬むことも大切であると思っています。また乳歯から永久歯の交換期で大切な時期になるので保護者の仕上げ磨きも小学校4年生くらいまでは必要だと思っています。</p>
委員		<p>小学校でのフッ化物洗口の方が具体的に始まっていくということで、歯科衛生士会としても学校の方に出向き歯みがき指導やブクブクうがいの指導等をさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
委員		<p>フッ化物洗口の薬剤の調剤・管理について学校や保育園・幼稚園の薬剤師がサポートしますのでご相談ください。</p>
委員		<p>ライフステージ毎に色んな施策を考えてもらっていて、これから施行していくことになるかと思っています。よろしくお願いいたします。</p>
委員		<p>フッ化物洗口が小学校でも始まるということで、色々不安もおありだと思っています。歯科医師会としても全面的にバックアップいたしますので、よろしくお願いいたします。</p>
委員		<p>口腔の健康づくりは、子どもの頃からの歯科対策が大切になってきますので、そこをしっかりと重点的にやっていきたいなと思っています。</p>
会長		<p>その他何か連絡ありますか。無いようでしたら協議を終えたいと思います。</p> <p>ご審議・ご協力ありがとうございました。</p>

<p>15:00</p>	<p>事務局</p>	<p>本日は、長時間にわたりましてのご審議ありがとうございました。</p> <p>委員の皆さまにいただきました貴重なご意見をもとに、歯と口腔の健康づくりを推進して参りたいと思います。</p> <p>本日の協議会が各関係機関・団体の連携の第一歩となり、今後は相互に連携しながら、本市の歯科保健の向上をめざしてまいりたいと思いますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。</p> <p>なお、次回第2回の会議の開催につきましては、2月頃に予定しておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、これをもちまして、平成30年度 第1回松阪市歯と口腔の健康づくり推進協議会を終了させていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p>
--------------	------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------